

使っている花 ■ユリ(タイニーダブルユー)、アンスリウム(マキシマ)、トリトマ、ジニア(クイーンライムオレンジ)



ユリ

花言葉 純潔／威厳

ポップなオレンジのサマーブーケ
注目の小輪八重咲きのユリで

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりした、つぼみが膨らみ色づいたものを選びましょう。
- 室温が高いと早く開花するので涼しい場所に飾りましょう。切り花栄養剤を使うと開花してからも長く楽しめます。
- バクテリアの影響を受けにくいので、水替えが面倒な方におすすめ!
- 傷んだ花を取り除き、水替え時に茎を切り戻せば、最後のつぼみまで咲く姿を楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①話題の小輪品種「タイニーダブルユー」は、コンパクトなブーケにもぴったり。同じく小輪系のアンスリウムなどとあわせてポップにアレンジしましょう。
- ②水に浸かる部分の葉は取り除きつつ、花のまわりの美しい葉は活かします。ピッチャーなど安定感のある器に1~2本のユリをいれます。
- ③ユリの花と花の合間にアンスリム、トリトマなどを加えながら、全体がラウンド状に丸くまとまれば出来上がり!

トロピカルに楽しむスカシユリ

日本はユリの聖地。夏の山野に咲く多様なユリたちは脈々と交配され、花色、咲き方、大きさもバラエティ豊かに。トレンドはゴージャスな八重咲きタイプ“ローズリリー”ですが、最近はミニスカシユリの品種開発も話題に。濃密な香りや艶やかな薔薇ユリの魅力ですが、画像の品種は無花粉・無香で扱いやすく、テーブルフラワーにぴったり!



ユリ

花言葉 純潔／威厳

ポップなオレンジのサマーブーケ
注目の小輪八重咲きのユリで

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりした、つぼみが膨らみ色づいたものを選びましょう。
- 室温が高いと早く開花するので涼しい場所に飾りましょう。切り花栄養剤を使うと開花してからも長く楽しめます。
- バクテリアの影響を受けにくいので、水替えが面倒な方におすすめ!
- 傷んだ花を取り除き、水替え時に茎を切り戻せば、最後のつぼみまで咲く姿を楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①話題の小輪品種「タイニーダブルユー」は、コンパクトなブーケにもぴったり。同じく小輪系のアンスリウムなどとあわせてポップにアレンジしましょう。
- ②水に浸かる部分の葉は取り除きつつ、花のまわりの美しい葉は活かします。ピッチャーなど安定感のある器に1~2本のユリをいれます。
- ③ユリの花と花の合間にアンスリム、トリトマなどを加えながら、全体がラウンド状に丸くまとまれば出来上がり!

トロピカルに楽しむスカシユリ

日本はユリの聖地。夏の山野に咲く多様なユリたちは脈々と交配され、花色、咲き方、大きさもバラエティ豊かに。トレンドはゴージャスな八重咲きタイプ“ローズリリー”ですが、最近はミニスカシユリの品種開発も話題に。濃密な香りや艶やかな薔薇ユリの魅力ですが、画像の品種は無花粉・無香で扱いやすく、テーブルフラワーにぴったり!



使っている花 ■ユリ(タイニーダブルユー)、アンスリウム(マキシマ)、トリトマ、ジニア(クイーンライムオレンジ)



ユリ

花言葉 純潔／威厳

ポップなオレンジのサマーブーケ
注目の小輪八重咲きのユリで

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりした、つぼみが膨らみ色づいたものを選びましょう。
- 室温が高いと早く開花するので涼しい場所に飾りましょう。切り花栄養剤を使うと開花してからも長く楽しめます。
- バクテリアの影響を受けにくいので、水替えが面倒な方におすすめ!
- 傷んだ花を取り除き、水替え時に茎を切り戻せば、最後のつぼみまで咲く姿を楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①話題の小輪品種「タイニーダブルユー」は、コンパクトなブーケにもぴったり。同じく小輪系のアンスリウムなどとあわせてポップにアレンジしましょう。
- ②水に浸かる部分の葉は取り除きつつ、花のまわりの美しい葉は活かします。ピッチャーなど安定感のある器に1~2本のユリをいれます。
- ③ユリの花と花の合間にアンスリム、トリトマなどを加えながら、全体がラウンド状に丸くまとまれば出来上がり!

トロピカルに楽しむスカシユリ

日本はユリの聖地。夏の山野に咲く多様なユリたちは脈々と交配され、花色、咲き方、大きさもバラエティ豊かに。トレンドはゴージャスな八重咲きタイプ“ローズリリー”ですが、最近はミニスカシユリの品種開発も話題に。濃密な香りや艶やかな薔薇ユリの魅力ですが、画像の品種は無花粉・無香で扱いやすく、テーブルフラワーにぴったり!



ユリ

花言葉 純潔／威厳

ポップなオレンジのサマーブーケ
注目の小輪八重咲きのユリで

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりした、つぼみが膨らみ色づいたものを選びましょう。
- 室温が高いと早く開花するので涼しい場所に飾りましょう。切り花栄養剤を使うと開花してからも長く楽しめます。
- バクテリアの影響を受けにくいので、水替えが面倒な方におすすめ!
- 傷んだ花を取り除き、水替え時に茎を切り戻せば、最後のつぼみまで咲く姿を楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①話題の小輪品種「タイニーダブルユー」は、コンパクトなブーケにもぴったり。同じく小輪系のアンスリウムなどとあわせてポップにアレンジしましょう。
- ②水に浸かる部分の葉は取り除きつつ、花のまわりの美しい葉は活かします。ピッチャーなど安定感のある器に1~2本のユリをいれます。
- ③ユリの花と花の合間にアンスリム、トリトマなどを加えながら、全体がラウンド状に丸くまとまれば出来上がり!

トロピカルに楽しむスカシユリ

日本はユリの聖地。夏の山野に咲く多様なユリたちは脈々と交配され、花色、咲き方、大きさもバラエティ豊かに。トレンドはゴージャスな八重咲きタイプ“ローズリリー”ですが、最近はミニスカシユリの品種開発も話題に。濃密な香りや艶やかな薔薇ユリの魅力ですが、画像の品種は無花粉・無香で扱いやすく、テーブルフラワーにぴったり!



使っている花 ■ユリ(タイニーダブルユー)、アンスリウム(マキシマ)、トリトマ、ジニア(クイーンライムオレンジ)

